

Letter No.55

雪崩分科会レター



新潟県湯沢町土樽地区で発生した面発生乾雪表層雪崩の状況

平成 27 年 2 月 15 日～16 日未明，関越自動車道の新潟県湯沢町土樽地区に設置されている大型減勢工（群杭型枠組工：1986 年 11 月設置）において，設置後初めて大規模な面発生乾雪表層雪崩が流入し、雪崩流下を減勢阻止した事例が確認された。

（写真・文：町田 敬（町田建設株式会社））

2015 年 9 月 8 日発行

（公社）日本雪氷学会 雪崩分科会

目 次

■ 2015 年度雪崩分科会総会のご案内	1
■ 2014 年度事業報告	2
■ 2015 年度事業計画（案）	2
■ 2014 年度会計報告	3
■ 2015 年度予算（案）	3
■ 雪崩分科会 監査報告書	4
■ 雪氷研究大会（2015・松本） 日本雪氷学会雪崩分科会・日本雪工学会 雪崩防災委員会 合同講演会のご案内	5
■ 雪崩分科会企画セッション「山岳雪崩」のご案内.....	6
■ 雪崩分科会役員一覧表	7

分科会費納入のお願い

今年度の雪崩分科会費を郵便振替で納入願います。金額は年額 1,000 円です。お手数ですが、郵便局の窓口において用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、払い込み願います（氏名と何年度分の会費かをお書きください）。前年度までの会費に未納のある方は、あわせて納入願います。口座番号等は以下のとおりです。

口座番号：00670-0-26949 口座名称：日本雪氷学会雪崩分科会

ご不明な点がございましたら会計担当幹事 平島 寛行までお問い合わせください。

連絡先：〒940-0821 新潟県長岡市栖吉町前山 187-16

防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

Tel: 0258-35-8932 Fax: 0258-35-0020 e-mail: hirasima@bosai.go.jp

■ 2015 年度雪崩分科会総会のご案内

雪氷研究大会（2015・松本）の開催期間中に、下記のとおり雪崩分科会総会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日 時：2015 年 9 月 14 日（月）17:30-18:00

場 所：信州大学理学部（〒390-0802 長野県松本市旭 3-1-1）G 会場 C 棟 1 階第 13 講義室

議 題：

1. 2014 年度事業報告
2. 2014 年度会計報告
3. 2014 年度監査報告
4. 2015 年度事業計画
5. 2015 年度会計計画
6. 第 26 回雪崩対策基礎技術研修会の開催協力
7. 雪氷雪崩特集号に関する報告
8. その他

● 総会前の 15:00～16:30 に、企画セッションとして「山岳雪崩」、16:30～17:30 に雪工学会雪崩防災委員会との合同セッションとして Evgeny Podolskiy 氏による講演「100 years of snow avalanche disasters at Sakhalin and Kuril Islands during Japanese and Russian eras」（北海道に近いサハリンや千島列島でも、多くの雪崩災害が発生しています。その実態を把握して今後の雪崩対策の参考にすることを目的に北海道大学低温科学研究所のポドリスキ エヴゲニ氏に過去 100 年間のサハリンと千島列島の雪崩災害を報告していただきます。）が同じ会場で開催されますので、多数のご参加をお待ちしております。雪崩分科会会員以外の参加も大歓迎です。

● 総会終了後、懇親会を予定しております。場所は総会時にお知らせします。

■ 2014 年度事業報告

1. 総会・研究会の開催

雪崩分科会総会の開催

2014年9月20日 八戸工業大学 108 講義室 参加者 35名

雪崩分科会セッション「2013/14 冬季の雪崩災害を振り返る」

2014年9月20日 八戸工業大学 108 講義室 参加者 35名

雪工学会雪崩防災委員会と合同

2. 第 25 回雪崩対策の基礎技術研修会の開催（協力）

2014年12月18～19日 山形県山形市・西川町 参加者：45名

3. ニュースレター「letter」No. 53, 54 の刊行

4. 「雪氷」雪崩特集号発行への協力（「雪氷」76巻6号、77巻1号）

5. 雪崩分科会ホームページの更新と管理

6. 雪崩分科会メーリングリストの運営と管理

■ 2015 年度事業計画(案)

1. 総会の開催

2. 研究会の開催（企画セッション「山岳雪崩」、雪崩分科会セッション（雪工学会雪崩防災委員会と合同）ほか）

3. 日本雪氷学会主催「第 26 回雪崩対策の基礎技術研修会」の開催協力（越後湯沢開催）

4. ニュースレター「letter」の刊行（2回）

5. ホームページの充実と活用

6. 雪崩分科会メーリングリストの活用

7. 分科会会員に対する研究協力

■ 2014 年度会計報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位: 円)				
	科 目	金 額	備 考	
経常収益の部	事業収益			
	研究大会事業収益	9,000	分科会会員費	
	研修会事業収益	0	参加費	
	出版事業収益	0	投稿料、冊子代	
	受取寄付金	0		
	雑収益	5	預金利子	
	経常収益合計	9,005		
経常費用の部	事業費			
	臨時雇賃金	0	アルバイト料	
	旅費交通費	0	旅費交通費、宿泊費	
	通信運搬費	510	切手、送料、電話代	
	消耗品費	0	研究助成費	
	印刷製本費	0	分科会ニュースレター発行費	
	会議費	0	飲食代、お菓子代	
	会場費	0	会場使用料	
	保険料	0	保険料	
	諸謝金	0	講師謝礼金	
	サイト運営費	0	HP運営費	
	手数料	1,538	残高証明発行料	
	管理費			
	旅費交通費	0	旅費交通費、宿泊費	
	通信運搬費	0	切手、送料、電話代	
	消耗品費	0	事務用品、筆記用具等	
	会議費	0	飲食代、お菓子代	
	会場費	0	会場使用料	
	手数料	0	振込手数料	
		経常費用合計	2,048	
		当期経常増減額	6,957	

■ 2015 年度予算(案)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位: 円)				
	科 目	金 額	備 考	
経常収益の部	事業収益			
	研究大会事業収益	45,000	分科会会員費	
	研修会事業収益	0	参加費	
	出版事業収益	0	投稿料、冊子代	
	受取寄付金	0		
	雑収益	0		
	経常収益合計	45,000		
経常費用の部	事業費			
	臨時雇賃金	0	アルバイト料	
	旅費交通費	0	旅費交通費、宿泊費	
	通信運搬費	0	切手、送料、電話代	
	消耗品費	50,000	研究助成費	
	印刷製本費	5,000	分科会ニュースレター発行費※	
	会議費	0	飲食代、お菓子代	
	会場費	0	会場使用料	
	保険料	0	保険料	
	諸謝金	0	講師謝礼金	
	サイト運営費	0	HP運営費	
	手数料	0	振込手数料	
	管理費			
	旅費交通費	0	旅費交通費、宿泊費	
	通信運搬費	0	切手、送料、電話代	
	消耗品費	0	事務用品、筆記用具等	
	会議費	0	飲食代、お菓子代	
	会場費	0	会場使用料	
	手数料	1,024	残高証明発行料	
		経常費用合計	56,024	
		当期経常増減額	-11,024	

雪崩分科会 監査報告書

公益社団法人 日本雪氷学会
雪崩分科会会長 上石 勲 殿

2015年 4月 3日

公益社団法人 日本雪氷学会
雪崩分科会 監事 荒川逸人



2014年4月1日から2015年3月31日までの2014年度における雪崩分科会会計及び業務の監査を、次のとおり報告する。

1. 監査の方法

(1) 会計監査

収支決算書、帳簿、財産目録、領収書等の会計に係る資料をもとに、会計業務の実態について確認した。

(2) 業務監査

雪氷研究大会（2014・八戸）で開催された雪崩分科会総会（2014年9月20日開催）に出席するとともに、分科会役員等から事業内容や実施状況の聞き取り等を行うことによって、業務執行の妥当性を調べた。

2. 監査意見

(1) 会計監査

雪崩分科会の収支計算書および証憑類を監査した結果、正確かつ妥当であることを認める。また、事業内容に対する予算執行内容、予算規模、収支バランスなどの点も概ね良好であると判断する。

(2) 業務監査

雪崩分科会の活動は雪氷学会全国大会時に雪崩分科会例会（研究発表会）として開催されるほか、雪氷学会主催の「雪崩対策の基礎技術研修会」の開催協力、2回のニュースレターの発行、ホームページの更新等、様々な事業が活発になされている。また、これらの事業は、雪崩分科会の趣旨に沿って、適切に遂行されているものと判断する。

以上

■ 雪氷研究大会（2015・松本）日本雪氷学会雪崩分科会・日本雪工学会雪崩防災委員会 合同講演会のご案内

雪氷研究大会（2015・松本）において、日本雪氷学会雪崩分科会・日本雪工学会雪崩防災委員会の合同講演会を、下記のとおり開催いたします。分科会の会員、非会員を問わず、関心のある方の多数のご参加をお待ちしております。お誘いあわせてご参集下さいますよう、よろしくお願ひします。

日 時：2015年9月14日（月）16時30分～18時00分

（講演会：16時30分～17時30分，雪崩分科会総会 17時30分～18時00分）

場 所：信州大学（松本市旭3丁目1理工学部校舎）G会場（C棟1階 第13講義室）

日本雪氷学会雪崩分科会・日本雪工学会雪崩防災委員会 合同講演会

北海道に近いサハリンや千島列島でも、多くの雪崩災害が発生しています。北海道大学低温科学研究所のポドリスキ エヴゲニ氏に過去100年間のサハリンと千島列島の雪崩災害を報告していただき、その実態を把握して今後の雪崩対策の参考にすることを目的に、日本雪氷学会雪崩分科会・日本雪工学会雪崩防災委員会合同セッションを開催いたします。

話題提供：

『100 years of snow avalanche disasters at Sakhalin and Kuril Islands during Japanese and Russian eras』

Evgeny Podolskiy, Ph.D.
Institute of Low Temperature Science,
Hokkaido University
Sapporo, Japan

■ 雪崩分科会企画セッション「山岳雪崩」のご案内

近年、山岳レクリエーションに関連した雪崩事故が社会的に注目されています。

本企画セッションでは、山岳雪崩対策に現場で直接携わっている方々をお招きし、実践者と研究者の相互理解を深めつつ、これからの山岳雪崩対策や研究に必要な視点やアプローチについて議論します。

日時：2015年9月14日（月）15：00～16：30

場所：信州大学理学部 G 会場（C 棟1階 第13講義室）

主催：日本雪氷学会 雪崩分科会

入場料：無料

***** プ ロ グ ラ ム *****

- | | |
|---|---|
| <p>・開会挨拶
雪崩分科会会長 上石 勲</p> <p>・講演題目
(1) 山岳雪崩と森林
若林 隆三
(アルプス雪崩研究所)
長年この研究テーマで中部山岳や北海道など列島を歩いてきたが、現場は想像を超える。その幾つかを紹介したい。</p> <p>(2) 積雪モデルを用いた雪崩発生予測
平島 寛行
(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)
観測、予測された気象データから積雪モデルを用いて雪崩の発生危険度を予測する方法と、その現状と課題について紹介する。</p> <p>(3) 北海道支部雪氷災害調査チームの活動
荒川 逸人
(国立極地研究所 南極観測センター)
雪氷災害調査チームは、迅速な雪崩調査を行うために、研究者と山岳ガイドから構成さ</p> | <p>れる北海道支部の調査チームであり、その活動概要について紹介をする。</p> <p>(4) 山岳レクリエーションの雪崩対策技術
舍川朋弘
(日本山岳ガイド協会)
雪崩における危険とその対処。日常的に行われる山岳ガイド活動、雪崩とそのリスク管理における実践的見地からの紹介。</p> <p>(5) 山岳雪崩教育と雪崩情報
出川 あずさ
(NPO 法人日本雪崩ネットワーク)
雪崩教育と雪崩情報は、なぜ統合的に計画された方法で進める必要があるのか、その要点と事例を交えて紹介する。</p> <p>総合討論
司会 池田 慎二
(土木研究所 雪崩・地すべり研究センター)</p> |
|---|---|

■ 雪崩分科会役員

会 長	上石 勲	国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センター
副会長	和泉 薫	新潟大学災害・復興科学研究所
副会長	尾関 俊浩	北海道教育大学札幌校
幹事長	中村 一樹	防災科学技術研究所イノベーション推進室
監 事	荒川 逸人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所 南極観測センター
幹 事 (企画)	山口 悟	国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センター
幹 事 (会計)	平島 寛行	国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センター
幹 事 (企画)	飯田 肇	立山カルデラ砂防博物館
幹 事 (企画)	中山 健生	日本勤労者山岳連盟
幹 事 (企画)	町田 誠	町田建設株式会社
幹 事 (企画)	鎌田 慈	公益財団法人鉄道総合技術研究所
幹 事 (研究会)	町田 敬	町田建設株式会社
幹 事 (『雪氷』雪崩特集号)	河島 克久	新潟大学災害・復興科学研究所
幹 事 (編集)	竹内 由香里	国立研究開発法人森林総合研究所十日町試験地
幹 事 (編集)	小田 憲一	日本大学理工学部
幹 事 (メーリングリスト)	松下 拓樹	土木研究所雪崩・地すべり研究センター
幹 事 (メーリングリスト)	伊藤 陽一	国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センター
幹 事 (ホームページ)	池田 慎二	国立研究開発法人土木研究所雪崩・地すべり研究センター
顧 問	遠藤 八十一	国際雪形研究会
顧 問	若林 隆三	アルプス雪崩研究所
雪崩分科会ホームページ	http://www.seppy.org/~nadare/	
事務局	防災科学技術研究所イノベーション推進室 中村 一樹 e-mail: kazuki.snow@bosai.go.jp 〒300-0006 茨城県つくば市天王台 3-1 Tel: 029-863-7291 Fax: 029-863-7299	
編集担当	日本大学理工学部土木工学科 小田 憲一 e-mail: oda@civil.cst.nihon-u.ac.jp 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14 Tel: 03-3259-0575 (or0668) Fax: 03-3259-0575 (or0668)	